

※=====※

トラック 1

※=====※

★シエル：

ごきげんよう、人間さん

魔界学校に転入生が来ると聞いて、

どんな方がいらっしゃるのか、と思っておりましたが……

まさか、人間の殿方であったとは。

申し遅れました。

わたくし、エルフのシエルという者ですわ。

どうぞお見知りおきを。

優しい～

ここに来たばかりで色々と困ることもあるでしょう。

もし分からないことがあれば、なんでもわたくしに聞くとよいですわ。

それから、最後に一つ

まだ部活動も決まっていないのでしょうか？

ぜひ、わたくしが部長を務める、魔術研究部を見学しにきてほしいのです。

今日の放課後も活動しておりますから、ぜひ来てくださいます。

勢い強め！

それでは、わたくしはここで失礼致します。

次の授業の準備をせねばなりませんので……

◆フェリィ：

人間よ、体の調子は大丈夫か？

そうか、ならよいのだ。

魔族に比べて人間の体は脆いと聞くからな、
体調を崩してはいまいかと気を揉んでいたのだ。

さて、我はフェリィという者だ。

種族は龍である。見よ、この角と尾を！

確かに素敵なのだ

なァに、大した用事ではない。

我々は体を人型にしているが、魔族のうち気性の荒い者はそうではない。

もし、乱暴な魔族に因縁をつけられたら、我の名を叫べ

優しいのか。優しいんだろうな。

我がすぐさま駆けつけて、

貴様を手をかけようとする無礼者を成敗してやろう。

それから、放課後は武道館に來い。

武術を学ぶ部活動をやっているのてな。

非力な人間をみっちり鍛えてやろう。

最大限優しくしてやる。

それでは、楽しみにしているぞ

※=====※

トラック 2

※=====※

★シエル：

まあ、早速我が魔術研究部に来てくださったのですね！？

さあ、入ってくださいまし。

みなさん、彼のためにティーテーブルとティーセットを用意なさって！

優雅でありますねえ。

あなたがいらっしゃると信じて、最高の紅茶を淹れておきました。

さ、お飲みになってくださいな。

お味はいかがでしたか？

そうでしたか。それはそれは……

それでは、魔術研究部について、

ご紹介致しますわ

名前の通り、種々の魔術について研究を行い、習得したり……

あるいは開発したりする部活動ですわ。

分からないことがあれば、他の方に相談してもよろしいですし。

みな仲がよい部活ですわ。

仲の良さは大事なのである。

魔族の世界では、戦闘力はステータスですわ。

我々エルフのように、非力な種族は……

魔術を学ぶことによって、自らの身を守ることができるのですわ。

ですからあなたにも、

ぜひ魔術を体得していただきたく思っているのですわ。

ご理解いただけたようですわね。

それでは……

こちらが、入部届ですわ。

とにかく名前だけ書いていただければ、問題ありませんことよ。

ええ、そこですわ。

どうして、お書きにならないんですの？

ま、まさか！これはただの入部届ですわ！
とんでもねえエルフ様www

まさか婚姻届だなんて、そんなことあるはずないでしょう！？

く、くっ……

バレてしまっては仕方ありません。

全てをお話ししますわ

わたくし、あなたのことが大好きなのですわ。

今朝、ホームルームで転入生としてあなたが教室に入ってきた瞬間……

わたくし、あなたに心を奪われてしまいました♡

一目惚れの規模が大きいぞwww

人柄もよろしいようですし、

魔術の才能もばっちりあるようですし、

そこいらの魔族と違って乱暴な方ではありませんし……♡

そして、わたくしからもアピールさせていただきますわ！

なにを隠そう、このわたくし！

エルフを統べる王家の王女ですよ！

おーっほっほっほ！

高笑いwww

つまりわたくしと結婚すれば、逆玉の輿確定！いつでも豪遊！

わたくしと子作りし放題なのですわ！

いかがでしょう？

結婚したくなりましたわよね？

え？断る？

な、ななな、なんでですの！？

こうなったら、

無理やりにでも結婚していただきますわ！

無駄ですわ、あなたは今……

魔術によって体の自由を奪われておりますのよ。

そう怯えないでくださいまし？ 末恐ろしい……

わたくし、あなたに暴力を振るうつもりは毛頭ございませんもの。

ふふっ♡もし結婚したら……

どれだけのご奉仕が待っているのか、わたくしが体験させて差し上げますわ♡

くすっ♡かわいらしいおちんぼさんですわ♡

それでは失礼して……

完全に襲われているうううううう

んむっ♡んっ……ん……んうう……♡

ちゅうっ♡ちゅっ♡ずっ♡ずずっ♡

ちゅううう……♡っぱ♡

あっという間に、カチカチですわね♡

わたくしのお口、そんなに気持ちよくて？♡

魔術師の生命線とも言える……お口♡

エルフの王女の高貴な……お口♡

たっぷり穢してくださいませ♡ 高貴すぎるお口www

んむっ♡ちゅぞっ♡ちゅうううう～っ♡

じゅぶっ♡じゅぶっ♡じゅぞっ♡ぞぞおっ♡

じゅぼおっ♡じゅぼおっ♡

じゅぼじゅぼじゅぼおお～っ♡

じゅるんっ♡じゅっ♡じゅっ♡じゅぼっ♡

ちゅぽ♡ちゅぽ♡ちゅぽ♡ちゅぽ♡

ちゅうううっぽんっ♡ずそっ♡ずぞぞっ♡

じゅぞっ♡じゅぞぞっ♡じゅじゅううっ♡

じゅぶっ♡じゅぶっ♡じゅぶっ♡じゅぶっ♡

じゅぼっ♡じゅぼぼぼっ♡じゅるるるうっ♡

ぞぞっ♡じゅぞっ♡じゅるうう～っ♡

じゅぶうっ♡じゅうっ♡じゅぞっ♡

じゅぞぞっ♡ずぼっ♡ずぼっ♡ずぼっ♡

ちゅううう～っ♡ちゅううう～っ♡

んっぷ♡んっぷ♡んっぷ♡んっぷ♡

ぐぼっ♡ぐほっ♡ぐぼっ♡ぐぼぼほおっ♡

ぐぼっ♡ん"ぶっ♡じゅるっ♡じゅぼぼっ♡

ぐっぽ♡ぐっぽ♡ぐっぽ♡ぐっぽ♡

じゅぼおっ♡じゅぼ♡じゅぼっ♡じゅぼっ♡

ずりゅりゅりゅりゅうううう～～っ♡

じゅぼっ♡じゅぼじゅぼじゅぼおっ♡

ずじゅうううう～～っ♡♡

んっく♡んふっ♡んっ♡んっ♡ん……♡

ぷはぁ～っ♡なんと豊潤な味わい♡

これほど美味なのは、

あなた様の驚異的な潜在魔力がお精子に染み出しているからに他なりませんわ♡

へ……？

ど、どうやってわたくしの魔術を解いたんですの！？

にに、逃げないでくださいまし～！

※=====※

トラック 3

※=====※

待っていたぞ、人間よ！

さあ、こちらに來い。

なあに、取って喰ったりはしない。

うん？他の部員か？

今日は私が部活動体験をさせるから、活動はなしということで帰ってもらったぞ。

つまり2人っきり・・・♡

さて、ここは武術部だ。無論部長はこの我がやっている。

それでも、龍族に伝わる武術の師範代なのでな。

さて、我はあれこれと前置きを長くするのは好まん

早速人間に武術を体験させてやろう。

まずは基本の構えからだ。

私の真似をして構えてみろ。

左右逆に構えたから、見た通りに構えるといい。

ふむ……なかなかよいな。

もう少し、腰を落とせるだろうか？

そうだ、そう……うむ、それでいい

ふうむ……

左手はもっと角度をつけて構えよう。

うむ、そうだ。

それから……やはり、また背筋が曲がってしまっているな。

こればかりは慣れるしかないか……？

おい、なんだか呼吸が乱れていないか？

まさかこれだけでバテてしまうのか……？

あ、あ、ああ……お、おい人間……

貴様、なぜ股間を膨らませている……？ 貴様、わりと節操なしだなwww

嘘をつくな♡我に体を触られて……♡

興奮してしまったのだろう♡この変態め♡

はぁ……本当に仕方のないやつだ♡

私が貴様のその、節操のないモノをすっきりさせてやるとしよう♡

龍の奉仕を受けられる栄誉、快樂として人間のカラダに刻み込んでやる♡

嬉しそうww

ん〜？貴様のおちんぽ、

既にぬめっているではないか……？

純朴そうな顔をして、入学初日から女遊びとは、油断ならぬ男だ♡

先ほど絞られましたからねえ・・・

だが、いずれ龍王の婿となるのだ♡

それくらいの胆力がなくてはな……♡

早速しごかせてもらおうぞ……♡

しこしこ……しこしこ……♡

にゆるにゆる……♡しこしこ……♡

くくっ……♡

しごき始めたばかりだというのに、

すっかり顔がとろけているではないか♡

指で輪っかを作って……♡

きゅっ♡きゅっ♡きゅっ♡

にゅこっ♡にゅこっ♡にゅこおっ……♡

とされるだけで……♡

貴様はちんぽの快樂に

屈服してしまうのだな♡

なに、恥じることなどない♡

我は貴様のそんな可愛らしいところも愛してやるぞ……♡

そうだ、我と婚約しようではないか♡

そうすれば毎日でもこうして……♡

貴様の、節操なしのざちんぽ♡

気持ちよ〜く……♡

びゅるびゅるさせてやれるぞ♡

しこしこ……♡しーこしーこ……♡

この我が甘やかしてやるのは、貴様だけだぞ……♡

しこしこ……♡しこしこ……♡

ぎゅむぎゅむ……♡にゆるにゆる……♡

さあ、我との婚姻を誓え♡

そうか、まだ嫌か……なら、仕方あるまい

ここで情けなく射精させて、貴様を我のカラダの虜にしてやる♡

しゅこしゅこしゅこしゅこ〜っ♡

しゅこしゅこしゅこしゅこお〜っ♡

情けない声が漏れてきたな♡

もう射精が我慢できないだろう♡

子種汁、吐き出してしまいたいだろう♡

ほら、射精しろ♡イケ♡イケ♡

しこしこしこしこお〜♡しこしこしこしこお〜♡

しゅこしゅこしゅこしゅこしゅこお〜♡

ぶびゅ♡びゅるるるるうう〜♡♡

出しすぎだぞ、人間よ……♡

我的手がどろどろではないか♡

れろっ……ずずっ……♡

ああ、貴様の遺伝子を舌で感じるぞ♡

いずれはこれも我が胎に……♡

あっ、待てっ！だ、だが……

精子を味わうのをやめられない♡

本能には逆らえないwww

ずる♡ちゅる……♡すじゅ……♡

まっ、待てえーっ！♡

※=====※

トラック 4

※=====※

★シエル：

守護魔法陣展開！

はああああッ！！！！

💠フェリィ：

廃校舎のほうに行くので様子を見ていたが、

案の定、野蛮なやつに絡まれているではないか！

まったく、世話の焼ける人間だ！

そこの魔族、まだその人間を狙うか？

生憎、今の我には加減ができぬ。

我が拳一振りで、貴様は塵も残らぬぞ！

去ったか。

まったく、旧校舎の者共は血の気が多くてかなわんな。

危なかった・・・

★シエル：

お怪我ありませんか？

……どうやら、大丈夫そうですわね

やはり、わたくしと婚約して、

魔術を修めるべきですわ。

そうすれば、危険なことにもなりませんもの

◆フェリィ：

聞き捨てならぬな、エルフの小娘。

こやつは我と婚姻の契りを交わすのだ。

しごかれるwww

そして、魔界最強である我が

完璧に護身術を叩き込み、我自身もまたこやつを守るのだ。

★シエル：

野蛮な龍がぬけぬけと……

このお方は、我々エルフ族でお守りするのですわ！

◆フェリィ：

ならぬ。絶対の力を持つ我ら龍族に、

あまねく命はすべからく庇護されるべきなのだ！

★シエル：

ぐぬぬぬぬ……

2人ともぐぬぬがかわいいw

◆フェリィ：

ぐぬぬぬぬ……

★シエル：

こうなれば、

彼に決めていただくしかありませんわね

◆フェリィ：

どうやらそのようだ。

我と貴様のどちらを嫁とするのか……

えっちで決めようではないか！

えっちな勝負始まった〜〜〜！！！！

★シエル：

望むところですよ！

◆フェリィ：

近くに、使われていない元保健室がある。

そこのベッドで勝負といこうか？

★シエル：

好都合ですよ。室内なら魔族避けの結界も貼れますし……

はっ！

◆フェリィ：

転移魔術か、手間が省けたな。

では、人間よ……服を脱ぐがいい。

★シエル：

まずはわたくしが、あなた様を上から犯して差し上げますわ♡

わたくしにメロメロになる準備はよろしくて♡

◆フェリィ：

貴様本当に節操がないな……

エルフの小娘に押し倒されただけで、もう勃起しているじゃないか♡

★シエル：

それではいきますわよ♡

っく、はあああ……♡

わたくしのっ♡高貴な穴が……♡
高貴な穴www
この表現好きwww

あ、あなた様のおちんぽでっ♡

めりめりっ♡広げられておりますわ……♡

う、動きますわよ……♡

あっ♡はっ♡あっ♡あっ♡あんっ♡

んっ♡ふっ♡うっ♡はあっ♡あっ♡あっ♡

あっ♡んっ♡あっ♡あんっ♡はあっ♡

いっ、今っ♡すごい幸せですわっ♡

頭がふわふわしてえっ♡

このまま天に召されてしまいそうですわっ♡

あなた様と繋がるの、最高ですわっ♡

あっ♡はっ♡あっ♡くふうっ♡ひいんっ♡

やっ♡やっぱ♡よっ♡余裕っ♡

なくなってきたっ♡あっ♡くっ♡

ふうっ♡あっ♡あっ♡あっ♡あんっ♡

いっ♡一方的にいっ♡イかせてっ♡ めちゃくちゃ感じちゃってますわよ~~~~♡♡♡♡

差し上げるうっ♡予定でしたのにっ♡

あっ♡はっ♡あっ♡くひいっ♡ひんっ♡

あっ♡あっ♡あっ♡あぁっ♡あっはあっ♡

さっ♡作戦変更ですわっ♡はあんっ♡

イかば諸共ですことよっ♡なっ♡あっ♡

なにがなんでもっ♡んっ♡ふっ♡

イかせて差し上げますわあっ♡

ああああっ♡すごいっ♡すごいですわっ♡もっ♡もう♡すぐイっちゃいそうっ♡

くっ♡ふっ♡がっ♡我慢しなくてはっ♡イっ♡イってっ♡イってくださいましっ♡

◆フェリィ：

我が隣にいるというのに、

まさかエルフの小娘に射精しようなどと考えていないだろうな♡

ダメだぞ、きちんと射精は我慢しろ♡

む、無理ですううう

★シエル：

いやっ♡いやですわっ♡わたくしっ♡あっ♡

あなた様と一緒にイきますわっ♡ひいんっ♡

すきっ♡すきっ♡すきっ♡すきですわっ♡

イっ♡いくっ♡あなた様のことをっ♡

お慕い申し上げますわっ♡

いくっ♡イっ♡イっ♡あっ♡あんっ♡

ふああっ♡あっ♡あっ♡あっ♡ああっ♡

いくっ♡いくいくいくいくっ……♡

あはあああああ～～っ♡♡

★シエル：

あっ……♡はあ……♡はあ……♡

お……お気に召しましたか……♡

◆フェリィ：

では、次は我の番だな。

まだ肉棒が硬いまとは、流石の精力だ♡

◆フェリィ：

我こそは最強の龍。

そこで伸びているエルフのようにはならんぞ？

さあ、挿入の時間だ。いくぞ……

んんっ……♡こっ……これはっ……♡

くっ♡想像以上だっ……♡なんてモノを持っているのだ、貴様っ……♡

つよつよおちんぼ

だが、我に後退はない。動くぞ、人間よ……♡

そこも後退しちゃだめなのねええ

くっ♡ふっ♡うっ♡くっ♡んっ♡く……♡

ふっ♡ふっ♡ふっ♡うっ♡ふっ♡ふうっ♡

はっ♡はっ♡くっ♡はっ♡くうっ♡

んっ♡んっ♡まっ♡まずいっ♡かっ♡

ふああああんっ♡

いっ♡今のがっ♡我の声なのかっ♡あんっ♡

こっ♡こんなっ♡情けない声がっ♡んっ♡

あぁっ♡あっ♡あっ♡あっ♡んはあぁっ♡

まっ♡まずいっ♡感じすぎてしまっ♡

ひいっ♡あっ♡あっ♡ふぁっ♡あんっ♡

あっ♡あっ♡あっ♡んひいっ♡あっ♡

まっ♡まずいっ♡こっ♡腰がっ♡勝手にっ♡

強くっ♡弾んでしまっ♡くはあぁぁっ♡

くそっ♡きっ♡貴様っ♡あっ♡あぁんっ♡

貴様がっ♡早くイかないから♡悪いのだっ♡

んっ♡はっ♡あっ♡あっ♡こっ♡このおっ♡

イけっ♡イけっ♡はっ♡早くうっ♡あんっ♡

合間に女が見えちゃってるのがかわゆいねえ。

★シエル：

だ、だめですわよ……♡

あなた様は、わたくしの旦那様なのですから♡

う……浮気ですわよっ……♡

他の女に射精したら……♡ダメですわ……♡

よろしくて……？♡

◆フェリィ：

だっ♡ダメだっ♡気をやっってしまうっ♡

イっ♡イってくれっ♡頼むっ♡お願いだっ♡

あはあっ♡ふっ♡くっ♡くひい♡ひいんっ♡

あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡あぐうっ♡あっ♡

イけっ♡イけっ♡我もすぐにいくからっ♡

くふうっ♡あっ♡あんっ♡ああんっ♡

いっくう♡いくっ♡いくっ♡いくっ♡

あはあっ♡あっ♡んはあああ～っ♡♡

★シエル：

ほほっ……ざ、ざまぁないですわね……

◆フェリィ：

きっ、貴様こそっ……

感じまくっていたではないか

★シエル：

この方のおちんぽが……

よすぎるのが悪いんですわ……♡

◆フェリィ：

違うない……誰であれ、こうなってしまうだろうな。

★シエル：

ライバル、認め合い～～！！
おちんぽを通して（間接的に）認め合っちゃった

ふっ……わたくしとあなた、似た者同士ですわね……

◆フェリィ：

案外、そうかもしれぬな……

★シエル：

それで、どちらと結婚なさるんですか？

◆フェリィ：

そうだ、はっきりして貰わねば困る……

★シエル：

ね、寝てますわ……

散々乙女の痴態を見て、返事もせずに……

◆フェリィ：

まったくな！！
返事をしろおい！！

無理もない……

こやつ、今日は何度射精したのやら……

※=====※

トラック 5

※=====※

◆フェリィ：

おはよう、人間。

★シエル：

おはようございます。

え？ここでなにをしているのか？

……見ての通りですわよ？

あぶない、あぶない・・・

◆フェリィ：

これから貴様との婚姻をかけて、エルフ族と龍族とで戦争を行うのだよ。

嫌か？ならば、貴様が腹を決めれば終わる話だ。

我かシエルに、告白するがよい。

★シエル：

そうですわね。そうすれば、無駄な血は流れませんわよ？

覚悟を決めたようですわね？

そう、いい加減はつきりせい。と。

◆フェリィ：

では、告白してもらおうか、貴様がどちらを選ぶのか……

★シエル：

はぁ？

◆フェリィ：

くっ、くくく……なるほどな！

面白い選択だ、まさか二人とも嫁にもraitたいとは！

★シエル：

人間だったら受け入れてくれなかったかもしれませんが
人間じゃないからな～

笑いごとじゃありませんわよ！？

フェリィ、あなたそれでもよろしいの！？

◆フェリィ：

我は構わんぞ？

こやつとつがいになれれば、それでよい。

★シエル：

わ、わたくしも……

彼と結ばれることができるなら……構いませんけれど……

◆フェリィ：

それならよいではないか。

者共、散れ！余興は終わったぞ！

ここ、かっこいい

★シエル：

はぁ、わたくしも兵を帰投させましょうか。

まさか、こんなことになるとは……

予想もしませんでしたわ。

◆フェリィ：

言質を取ったからネタをバラすが、

此度の騒動は、我とシエルとで打った芝居よ。

人外危ないっす。人外、スケールでかすぎでっす。

★シエル：

最初から戦争などする気はありませんでしたわ。

全て、あなた様から告白を引き出すため……

悪いことをしましたわね

◆フェリィ：

さぁシエルよ。

龍族とエルフ族の合同結婚式、その段取りを共に決めようではないか。

★シエル：

そうですわね、なにごとも早いほうがよいですわ。

それでは、わたくしたちは早退しますので、

本日のところはこれで……

※=====※

トラック 6

※=====※

★シエル：

もうそろそろ夜になることですし、
勉強会もここまでにしましょうか。

💎フェリィ：

くはあああ……ようやく終わりか……
こういう座学は苦手だ。

★シエル：

あら、お疲れ？
でしたらわたくし、彼と二人でこれからしっぽりと交わりますけれど。

お酒みたいに言うなww

💎フェリィ：

ふん、誇り高き龍王に疲れなどない。
寝室へ赴くのも億劫だ、ここで始めようではないか。

さすが

★シエル：

あら、あなたが疲れちゃったんですの？
大丈夫ですわ、脳の疲れと体の疲れは別ですわよ。

シエルって意外とスパルタよねwww

◆フェリィ：

そうだ。

我々のムラムラも発散させてくれないと、
貴様を巡って本当に戦争をしてしまうぞ？

★シエル：

さ、分かったら服をお脱ぎなさい？

後悔はさせませんわ♡

◆フェリィ：

よし、それではまずシエルから交わるがよい

★シエル：

あら、よろしいの？

それでは、お言葉に甘えさせていただきますわ♡

さ、こっちを向いてくださいまし♡

ほおら、わたくしのおまんこですわよ♡

おまんこに特製の魔術をかけて、

あなた様のおちんぼをとっても気持ちよくできるように致しましたの♡

さ、今日も沢山子種を捧げてくださいまし？

くうっ♡は、入ってきましたわ……♡

すぐに動いてもよろしくてよ♡

◆フェリィ：

貴様……シエルに気を遣って腰を振っているだろう？

見た目的にね、気を使っちゃうよね。

いいか、少女体型であるシエルのおまんこは浅い。

遠慮などせずに思いっきり突けば、凄まじく乱れ、狂ったようにイクぞ♡

そうしてシエルが限界を迎えたら、我とじっくり交わろうではないか……♡

さあ、思いっきりピストンしてみるがいい♡

★シエル：

んほおおっ♡お"っ♡お"おっ！？♡

お"まんこぶち抜かれてえっ♡イぐっ！？♡

遠慮なくイケーーーーー！！！！
どんどんっこめーーーーー！！！！！！

ごっ♡腰振り止まらないですわぁっ♡

お"っ♡お"っ♡お"っ♡お"っ♡お"ほおっ♡

おくっ♡おぐごりごりいっ♡ふぎいっ♡

お"おほおっ♡ほっ♡ほっ♡ほおっ♡

んほおっ♡お"おんっ♡だめえっ♡ん"うっ♡

ぎひいっ♡ひぎいっ♡お"っ♡お"っ♡お"っ♡

お"まんこちゅぶされちゃいまひゅわ〜っ♡

はっ♡孕む"うっ♡ごりゅごりゅされてっ♡

エルフの孕み袋にされっお"おほお〜っ♡

イ"っ♡イ"ぐの止まらないのおっ♡お"ほお♡

ずっとっ♡ずっとイ"ギっぱなしい"♡

高貴なっ♡エルフまんごっ♡ふんぎいっ♡

人間ちんぽにっ♡ぼこぼこにっ♡お"ほっ♡

◆フェリィ：

もっとだ、まだ遠慮があるな♡より激しくできるだろう♡

やれ♡王女様のおまんこをぶっ壊せ♡

★シエル：

ん"っほおおっ♡お"おっ♡お"お"お！？♡

やっべっ♡お"っ♡お"っぎゅうう～っ♡

ん"ほおっ♡お"っ♡ん"お"おお～っ♡ 高貴なエルフ様。激しいの喜んできますねえ。

お"っ♡お"っ♡お"お"んっ♡こわれりゅっ♡

わたくしっ♡ばかになりゅうう♡ん"ほお♡

はっ♡はやぐうっ♡おせーしくだしゃいっ♡

おまんこがっ♡ちゅうちゅう吸い付いてっ♡

ちんぽ汁うっ♡欲しがってりゅのっ♡

ぜんぶっ♡ぜんぶぜんぶっ♡ひいんっ♡

あにゃた様のっ♡せーし搾りゅのお"っ♡

お"ほおっ♡ん"ほお♡イぎゅっ♡イぎゅっ♡

いちばんおっきなのくりゅううう～っ♡

お"んっ♡ほっ♡ほっ♡ほっ♡ほっ♡ほっほおっ♡

イぎゅイぎゅイぎゅイぎゅう～っ♡

ん"オ"っホお"おおお～っ♡♡

んおおお……♡ほおおお……♡

お"ひっ♡おっ……♡おほおお……♡

💎フェリィ：

貴様、出しすぎだぞっ……

一回の射精で、おまんこから溢れ出るほどではないか♡

エルフの名器に、相当搾られてしまったようだな……♡

だが、次は我だっ♡ほら、早くこっちを向け♡

夜通しねっとりと交わるぞ……♡

ねっとりww

さあ、来てくれ……♡

っく♡やはり貴様のモノはすごい……♡

伝説に謳われる、龍殺しの剣のようだ……♡

動けっ……♡

★シエル：

はぁ……♡はぁ……♡今、あなた様の耳に、
魔術で直接語りかけておりますわ……♡

フェリィ、わたくしを謀りましたわね……♡

許せんせんわ。

あなた様、彼女の角を強くお握りになってみてくださいまし……♡

仕返しやっべwww

きっと、身分も忘れてよがり狂うはずですわ……♡

それが龍族の性ですから♡

強くおまんこをほじるのも、忘れないようにお願いしますわね♡

💠フェリィ：

くひよおおっ♡にやっ♡にやにおっ♡

はっ♡あ"んっ♡離せえっ♡その手をっ♡

お"おっ♡おっ♡お"おおお〜っ♡

そっ♡そこ掴まれりゅとおっ♡お"っほっ♡

我はあっ♡あ"はあっ♡めっ♡メスにっ♡

メスになってしま"っ♡あ"っ♡ぎひっ♡

ん"はあああ〜っ♡だめだっ♡

メスになったwww

だめだめだめだあっ♡や"めてえ"ん"ほおっ♡

★シエル：

そのまま角を優しく擦って差し上げなさい♡

すごいものが見れますわよ♡

やっぱりフェリィよりシエルさんの方が
鬼畜な気がするのは気のせい・・・？笑

💠フェリィ：

ん"によお"お"おお～っ♡イぎゅううっ♡

っっ♡角をいじりゅなっ♡あ"っ♡あ"うっ♡

イ"きっぱなしでえっ♡ん"お"っ♡

帰ってこれなくなりゅううっ♡

こっ♡後悔させてや"りゅううっ♡お"っ♡

せーし全部搾ってえ"……♡ほおっ♡

二度とこんなことしないように"っ♡あ"っ♡

しつけてやりゅうう……♡ん"おほおっ♡

お"おおんっ♡ひぎいっ♡はぎいっ♡

あ"ひいっ♡だめえっ♡だめにやのおっ♡

お"んっ♡お"んっ♡お"ほお～っ♡お"おっ♡

★シエル：

まだ反抗的ですわね♡

こうなれば、傷つけない程度に……

フェリィさんの角を甘噛みして差し上げましょうか♡

さあ、やってみましょう♡ほら、ほら……♡

◆フェリィ：

なっ？

ほお"ん"お"おおっ♡ほぎよおっ♡お"っ♡

トぶっ♡頭トんじゃうっ♡ぜっ♡

全部なくなりゆう♡お"ほおっ♡お"おんっ♡

りゅっ♡龍のプライドもお"っ♡お"ほおっ♡

築いた立場もお"っ♡お"んほおっ♡ん"ほお♡

あ"ひいいあ"あっ♡あ"ぎっ♡あ"がっ♡お"♡

全部っ♡全部捨てでえっ♡はっ♡あ"ぐっ♡

孕みトカゲにい"っ♡なっでしまいうう～っ♡

感じりゅっ♡ぐりゅっ♡くりゅのお"っ♡

人間の種付け射精くりゅの感じりゅうっ♡

わ"っ♡我もイ"くぞおっ♡ほおっ♡うん"っ♡

お"っ♡お"っ♡お"っ♡お"っ♡お"っほお♡

孕む"っ♡絶対孕む"うっ♡産んでやり"ゅ♡

イぎゅっ♡イぎゅうっ♡アクメすりゅ"っ♡

ホおっ♡あ"っあ"はア"あ"ああ～っ♡♡

あ"へえ……♡えへ……♡えへへ……♡

はひい……♡しゅき……♡しゅきしゅき……♡

メスになったフェリィちゃん。
きやわいいねええええ！！！！

★シエル：

よく頑張りましたわね。流石わたくしたちの旦那様ですわ♡

ですが、夜はまだまだ長いですわよ♡

フェリィもちろん、龍の体力で復活しますわ♡

まだまだ射精していただきますわよ……♡

勉強は学生の本分。種付けは旦那様の本分ですわ♡

スパルタ性活の幕開け～～～